

たかとりひがし  
**神戸国際港都建設事業**  
**鷹取東第一地区震災復興土地区画整理事業**

受賞機関 神戸市都市計画局

### はじめに

本事業は、平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災により壊滅的な打撃を受けた市街地で施行された震災復興土地区画整理事業のひとつであり、平成13年2月21日に換地処分公告を終え、兵庫県内18地区（神戸市内では11地区）のなかで、最初に事業が完成した地区である。

### 事業の概要

鷹取東第一地区は、神戸市の中心地である三宮より西へ約7km、JR鷹取駅の東南に位置する約8.5haの地区である。

被災前、鷹取商店街を中心とした店舗と戦前長屋等からなる利便性の高い、いわゆる「下町」であったが、一方では狭小で老朽化した住宅が密集し、道路・公園等の都市基盤が不足しているという課題も抱えていた。

平成7年1月17日、地震と引き続いて発生した火災により、地区内のほとんどの家屋が倒壊・消失し多くの人命と財産を失うという被害を受けた。

この地区を安全で快適な住みやすいまちとして復興するため、神戸市では、地元まちづくり協議会を中心とした「住民参加のまちづくり」を実践し、平成7年11月に事業計画を決定し、本格的な復興に着手した。

平成8年8月には仮換地の指定がはじまり、引き続いて9月には整地・道路等の工事に着手した。

以後、順次事業を進め約5年半という短期間で完成した。



鷹取商店街

- ・面積：8.5ha
- ・区域：神戸市長田区日吉町5・6丁目、若松町10・11丁目、海運町2・3丁目、大橋町10丁目、野田町4丁目
- ・被災前人口・世帯数：2,051人・905世帯
- ・被災状況：全半壊・全焼/全棟数(%)  
= 494・40/550(97)
- ・施行者：神戸市
- ・施行期間：平成7年度～平成12年度
- ・事業費：約100億円
- ・主な整備内容：道路（コミュニティ道路を含む）  
L = 4,040m  
公園等  
公園4カ所 1,775㎡  
ポケットパーク3カ所



施行区域図



若松鷹取公園

### 事業の特徴

被災前の課題を解消し、安全で快適なまちづくりのため次のような整備を行った。

#### (1) 道路

- ・施行前には、各町内には狭小な私道が多かったが、区画道路を密に設置し、住環境の整備と防災機能の向上を図った。
- ・地区のメインストリートである鷹取商店街の道路を、新たにコミュニティ道路として整備し、快適性を向上させた。また、電線類の地中化を行った。

#### (2) 公園等

- ・4カ所の公園と3カ所のポケットパークを新設した。
- ・公園（2カ所）の地下に、100tの耐震型防火水槽を設置した。
- ・公園とポケットパークに防災器具を備えた倉庫を設置した。